

2020年8月27日改訂版

新型コロナウイルス感染症対策に伴う

令和2年度九州六大学野球連盟秋季リーグ戦ガイドライン

(1) 大会関係者について

大会関係者（大会に関わる人）とは、選手だけでなく、指導者、理事会役員、連盟幹事、選手の保護者までを対象とする。

- ・選手および指導者等関係者の総数を想定して検討する。
- ・大会に関わる全ての人の検温実施など体調確認を行う
- ・大会関係者は、常時マスクを着用する。水分補給を促し、熱中症対策も講じる。
- ・状況により、観客の入場制限を行う（事前告知）

(2) 式典の簡略化

開閉会式は、参加者の制限、内容の簡略化など柔軟に対応する。

(3) 移動時の注意事項

- ・球場への出発前に検温の実施（各大学で準備）
- ・マスクの着用と手指衛生の徹底
- ・バス内での換気
- ・公共交通機関を極力使わず、止むを得ず利用する場合は込み合う時間帯を可能な限り避ける
- ・移動の際は可能な限り、一般客との接触を避ける

(4) 球場内に関する確認及び注意事項

① 出入り口

- ・ドアの常時開放
- ・開場時に人数を区切ったの入場

② トイレ、手洗い場

- ・洗面台やドアノブ等こまめに消毒
- ・トイレ個室にアルコール消毒スプレーを配備。利用者に毎回の使用を呼びかけ
- ・利用者に毎回のトイレ使用後ふたをして流すことを呼びかけ
- ・手洗い場にポンプ式石鹸の設置
- ・「手洗いは30秒以上」の掲示
- ・手指乾燥機は使用しない

- ③ ダグアウト（選手、トレーナー、指導者等）
 - ・タオルなどの共用物品の使用を控える
 - ・できるだけ選手同士の間隔をとり可能な限り接触を避ける
 - ・食事の際は横一列になる
 - ・ミーティングはなるべく屋外で行う
 - ・チーム行動以外での不要不急の移動は避ける
 - ・スポーツドリンクは指定場所以外に捨てない
 - ・選手以外（大人スタッフ・学生コーチ・マネージャー）は試合中もマスクを着用
 - ・ボールボーイのヘルメットは各大学で準備する
- ④ ダグアウト（連盟幹事）
 - ・試合間のベンチの消毒
 - ・試合間の整備道具の消毒
 - ・試合球などの消毒
- ⑤ 大会本部及び関係者控室
 - ・密を避けるように配置し、適切な運営スペースの確保
 - ・関係者控室はアクリル板を設置し、一人ひとりの間隔をあける
 - ・可能な限り常時、窓や扉を開放。難しい場合は、換気をこまめに行う
 - ・手指消毒剤の常時設置
- ⑥ 受付
 - ・手指消毒剤を常時設置
 - ・入場者全てに検温の実施
 - ・アクリル板か透明ビニールカーテンで遮蔽
 - ・距離を置いて並べる目印の設置
 - ・マスクの着用
 - ・一人ずつ受付をして入場の際の混雑を防ぐ
- ⑦ スタンド
 - ・観客の距離を置くための目印の設置
 - ・可能な限り試合間での席の消毒
 - ・スタンドにいる選手・保護者もマスク着用義務
 - ・選手の声を出しての応援は禁止とする

(5) 試合に関する注意事項

- ・ 試合前/中/後、手指消毒剤随時使用
(手指消毒剤をダグアウト、ブルペンに常時配置)
- ・ 手指衛生に努めた上、共用物品の使用を可能な限り控え、
共用物品についてはできるだけアルコールワイプなどで消毒する
- ・ 素手でのハイタッチや握手、グータッチなどを控える
- ・ 試合中、痰や唾を吐く行為の禁止
- ・ 試合中手を舐める行為の禁止
- ・ マウンド上で集まるときはグラブを口に当てる
- ・ 試合前やイニング間での円陣は密集を避ける
- ・ 場内放送にて、ソーシャルディスタンス確保、消毒、マスク着用を呼びかける
- ・ 球審はマスクやマスクシールドを使用するなど、飛沫感染の予防に努める

(6) その他

- ・ 選手及び、大会運営関係者の健康状態チェックシートの提出
- ・ 体調不良者に関する情報共有
- ・ ゴミ回収の際はマスク、手袋の着用、手洗い消毒
- ・ 審判のおしぼりは、一人一枚とし、使い回しをしない

(7) 大会参加における遵守事項

次の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。

- ・ 体調が良くない(例：発熱、倦怠感等の症状がある)
- ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
- ・ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、
地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある